各職種の定年年齢及び雇用年齢上限

下線部：国立大学法人京都大学教職員就業規則等の一部を改正する規則に係る改正箇所

適用就業規則	職種	雇用年齢上限	定年	経過措置 (R13年度まで段階的に引き上げ)
教職員就業規則	教員	満65歳(※1)	満65歳(※1)	
	教員以外	満65歳	満65歳	あり
特定有期雇用教職員就業規則	年俸制特定教員	満65歳(※2)	満65歳	
	特定拠点教員	なし		
	特定外国語担当教員	満65歳		
	特定病院助教		満65歳	
	特定専門業務職員	満65歳(※3)		
	特定職員			
	特定研究員	満65歳(※4)		
特定医療技術職員		満65歳	あり	
支援職員就業規則	支援職員	満65歳		
有期雇用教職員就業規則	別表第1(事務補佐員、技術補佐員等)			
	別表第1(労務補佐員)			
	別表第2(研究員等) 別表第3(医員、研修医等)	満65歳(※3)	満65歳	
時間雇用教職員就業規則	別表第1(事務補佐員、技術補佐員等)	満65歳	満65歳	あり
	別表第1(労務補佐員)			
	別表第1(OA)	—		あり(定年のみ)
	別表第2(医師(非常勤)、寄附講座教員、研究員(非常勤)等)	満65歳(※3)	満65歳	
	別表第2(専門業務職員(非常勤)、薬剤師(非常勤)、看護師(非常勤)等)	満65歳	満65歳	あり
	別表第3(講師(非常勤))	なし	満65歳	
	別表第3(TA、RA)	—	満65歳	あり(定年のみ)
別表第3(法科大学院特別教授、専門職大学院特別教授等)	満65歳(※3)	満65歳		
招へい研究員就業規則	招へい研究員、特別招へい教員	満65歳(※3)	満65歳	

(※1) 国立大学法人京都大学教員就業特例規則(平成16年達示第71号)第8条の適用を受ける実務家教員については「満70歳」。

(※2) 特定有期雇用教職員就業規則第7条第3項の適用を受ける全学機能組織配置教員については「満70歳」または「なし」。

(※3) 大学が特に認めた場合(無期雇用教職員となった場合を除く。)は雇用年齢上限を適用しないことができる。

(※4) iPS細胞研究プログラムにより雇用する場合(無期雇用教職員となった場合を除く。)で大学が特に認めた場合は雇用年齢上限を適用しないことができる。